

寺井 雄二 議員

悪臭問題について改善勧告は生かされているのか

Q 問 改善勧告が交付されたが悪臭問題解消に生かされているのか。

A 答 それぞれ改善計画が提出され、現地調査を行ったところ計画どおり実施されていることを確認した。しかし、臭気指数測定結果は、まだ規制基準を上回っているため、継続して改善対策を指導していきたい。

Q 問 悪臭対策として事業者に対して最も効果的な防止方法を指導されているのか。

A 答 県西部家畜保健衛生所や畜産環境対策協議会と協議し、事業者に対し適正に実施するよう引き続き指導徹底を図っていく。勧告に基づいて改善を図っていくよう、粘り強く実効性のあるものとなるように今後も努めていきたい。

西浅羽地区通称七曲がり道路改善について地元への取り組みは

Q 問 磐田掛川線が全線開通されれば交通危険が増す。これを解消させるため地元への話し合いが必要になるが、どのように話し合いを進めていくのか。

A 答 地元の協力が事業化に向けて必要不可欠なことと考えている。地元の状況を踏まえて県に働きかけをしていきたいと考えている。



県道磐田掛川線の通称七曲がり

久野 松義 議員

予算編成と財政改革について基準内数値かどうか

Q 問 4つの基準はクリアしているか。

A 答 実質収支比率は、約2%で、3~5%が望ましい数字である。経常収支比率は、75~80%が望ましいが、当初予算では86%。実質公債費比率は、早期健全化の基準が25%で、当初予算では15%程度と見込んでいる。将来負担比率は、350%を超えると財政健全化計画の策定が義務づけられるが、当初予算で130%と見込んでいる。

Q 問 行財政改革実施の状況は。

A 答 指定管理者制度の活用やワンステップアップ運動などの取り組みによる効果額が1億5,160万円と算出した。今後とも必要なサービスを最小の経費で最大の効果が発揮できる簡素で効率的、効果的な行政経営に努めていきたい。

発達障害者支援制度、発足して3年経過した

Q 問 発達障害者支援を年齢別、段階別の支援実績と成果で特質すべきものは。

A 答 幼年期では早期発見、学齢期では各学校で子供の状態に応じた適切な教育を行い、また、成年期では就労支援、老年期では一般の高齢者と同様の支援を行う。



指定管理者制度で管理することとなった月見の里学遊館